



症例検討会のお知らせ

#1 婦人科

演題：(1) ご紹介いただいた症例を中心に
 (2) 子宮体癌、たまほくの治療成績と最近の話題
 日時：平成29年9月21日(木) 19:30~21:00
 会場：多摩北部医療センター 2階大会議室
 演者：多摩北部医療センター婦人科部長 工藤 一弥

#2 血液内科

演題：(1) 貧血、血小板減少、急性白血病、
 リンパ節腫脹についてのミニレクチャー
 (2) ご紹介いただいた症例の報告
 日時：平成29年9月27日(水) 19:30~21:00
 会場：多摩北部医療センター 2階大会議室
 演者：多摩北部医療センター血液内科一同

お申し込みは、
 当院の地域医療
 連携室へご連絡
 ください。



市民公開講座のお知らせ

内容：膠原病と関節リウマチ
 日時：平成29年9月29日(金) 14時から15時30分まで
 会場：東村山サンパルネ2階 コンベンションホール
 演者：多摩北部医療センター リウマチ膠原病科医長 大島 美穂
 申込：申込不要(定員100名)。直接会場まで御越しください。

紹介・予約のご案内

患者さんのご紹介にあたっては「紹介状(診療情報提供書)」と「受診科のご予約」をお願いいたします。また、紹介状には受診科の明記をお願いいたします。初診時に紹介状が無い場合は、診療費の他に選定療養費として1,338円(税込)が加算されます。

予約センター

予約専用電話:042-396-3190・3511

予約受付時間：月~金曜日 9時~19時・土曜日 9時~12時
 ※お急ぎや受診予約希望や、受診に関してご相談等の場合は、地域医療連携室までご連絡ください。
 (受付時間：月~金曜日 9時~17時)

各種検査予約

代表電話番号:042-396-3811

放射線

代表番号より下記へご連絡願います。(受付時間：月~金曜日 9時~17時)
 CT・一般X線検査：内線 2236 MRI検査：内線 2600
 核医学検査：内線 2140 放射線治療：内線 2073・2169

内視鏡

予約センター又は地域医療連携室へご連絡の上、「内視鏡外来(金曜午後)」のご予約をお願いいたします。なお、内視鏡外来は、紹介予約制とさせていただきます。

《お知らせ》

内視鏡室は、2室から**3室に増室**しました。患者様の安全面にも配慮し、より快適にお使いいただけるように改修しています。ご紹介をお待ちしております。



高齢者とてんかん

神経内科医長 神谷 信雄



てんかんを持つ高齢の患者さんは増加しています。てんかんの発症は10歳未満に大きなピークがありますが70歳を超えると再度上昇し、有病率は年齢が上がるごとに上昇します。高齢発症のてんかんは殆どが症候性局在関連てんかんであり、その原因としては脳血管障害が最多で、認知症などの変性疾患に伴うものも少なくありません。症状としては、痙攣を伴わず意識の変容のみの発作が多く(複雑部分発作)、症状が数時間から数日間に渡り持続することもあります。意識の変容発作の多くは、数秒から数分の間、視線が固定し動作が停止する、というパターンを取ります。発作中の患者本人の記憶は失われているため、症状の詳細については家族や介護者への問診が必要です。

高齢者のてんかんの多くは、比較的少量の抗てんかん薬で発作を抑制することが可能です。高齢者てんかんは、意欲の低下として捉えられている場合や、認知症などに誤診されているケースが少なからずあると思われ、診断し治療することにより生活の質を大幅に向上できる可能性があります。今後超高齢社会を迎え、さらに患者数が増加すると思われます。当科では、幅広い年齢層のてんかん患者の診療を行っています(検査は、脳波、MRI、SPECTが可能です)。てんかんを疑う患者さんがいましたら当科にご紹介下さい。

神経内科では、急性期脳血管障害を中心に神経内科全般の診療を行っています。早めの診療が必要な患者さんがいましたら、地域連携室にその旨ご連絡頂ければ対応させていただきます。

新任医師紹介

7/1付 神経内科医長 有井 一正(ありい かずまさ)

出身大学：日本医科大学 平成4年卒

専門分野：神経内科全般、特に脳血管障害の診断急性期治療とリスク管理、
 認知症疾患の診断とケア

ご挨拶：荏原病院から転任して参りました有井です。前任地では脳卒中センターで脳梗塞急性期治療と二次予防、危険因子の研究を中心に活動し、厚労省の班研究も経験しました。また認知症疾患センターの物忘れ外来も担当しました。脳卒中の一次・二次予防や認知症治療も継続性が重要で、地域の先生方との連携が鍵になります。患者さんに最適な治療が提供出来ますよう努力して参りますので、宜しくお願い申し上げます。



《 地域医療連携ニュース「たまほく」に関するお問合せ 》
 地域医療連携室 042-396-3811 内線 2073



痙縮治療外来のご案内

リハビリテーション科医長 高橋 宣成



リハビリテーション科の痙縮治療外来をご紹介します。
毎週木曜日の午後に、リハビリテーション科外来にて診療しています。

＜診療内容＞

当外来では次のような症状のある患者さんを対象に治療しております。

- ・脳血管障害や脳性麻痺による痙縮
(手足のつっぱり、足がカタカタするクローヌス)
- ・ジストニア(痙性斜頸、眼瞼痙攣)、片側顔面痙攣、顔面神経麻痺後の病的共同運動 等

＜特色＞

ボトックスやフェノールを用いてブロック注射を実施しています。筋電図を使用して、異常な神経・筋の正常な同定を心がけています。注射だけでなく、ストレッチなどの運動療法が必要不可欠と考えており、理学療法や作業療法を併用しています。

＜ボツリヌス療法とは＞

ボツリヌス菌(食中毒の原因菌)が作り出す天然のたんぱく質(ボツリヌストキシン)を有効成分とする薬を筋肉内に注射する治療法です。ボツリヌストキシンには、筋肉を緊張させている神経の働きを抑える作用があります。そのためボツリヌストキシンを注射すると、筋肉の緊張をやわらげることができます。



ボツリヌス菌そのものを注射するのではないため、ボツリヌス菌に感染する心配はありません。

＜診察の申し込み＞

痙縮治療外来 木曜日(午後)

受診を希望される場合は、毎週水曜日を除く、「リハビリテーション科」(午前)のご予約をお願いします。

薬剤科のご紹介

薬剤科長 山村 康比古

薬剤科では、「薬の適正使用」のため業務を行っています。

「戦略的なチーム医療により、質の高い薬物療法を提供する」ことを使命とし、病院で使用される全ての「薬」が、より安全で効果的に使用されるように薬剤師の技術と知識を最大限に発揮するべく努めています。主な業務には調剤、注射調剤、医薬品管理、製剤、薬剤管理指導、チーム医療活動、医薬品情報活動、薬事委員会(病院で使用する医薬品について検討する委員会)事務局、治験事務局、薬学生の実習指導などがあります。また、院内で開催される糖尿病教室など患者さんやご家族向けの勉強会や講習会に講師として参加をしています。

全病棟に薬剤師を配置し、患者モニタリング、処方提案等など、質の高い薬物治療の提供とともに患者さんに安心していただけるよう心がけています。また、院外薬局からの問い合わせは、円滑な対応を目的に薬剤師が対応しています。

東京都がん診療連携協力病院であることから、キャンサーボード、緩和ケア推進などをおして地域医療機関との連携をさらに強化していきたいと考えています。

今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

小児内分泌外来のご紹介

小児科医員 仁科 範子



当外来では次のような訴えのある患者さんを診療しています。

- ・身長：低身長、高身長、成長率低下
- ・思春期が早い、遅い
- ・外性器：形が気になる
- ・甲状腺：機能亢進(バセドウ病)、機能低下(先天性甲状腺機能低下症、橋本病)
- ・皮膚：色が黒い、多毛がある
- ・糖尿病：1型糖尿病、2型糖尿病
- ・生活習慣病：肥満、コレステロールが高い、血圧が高い
- ・その他：低血糖がある、くる病などのカルシウム代謝異常など

当院通院中の患者さんで特に多い低身長と1型糖尿病についてご紹介します。

○低身長

ひとことに低身長と言っても治療が必要な病的な低身長はごくわずかです。多くは体質性低身長、家族性低身長、思春期遅発に伴う低身長で心配ない低身長です。当外来では何か身長の伸びない原因がないかを確認するため診察、必要な検査等を行います。

○1型糖尿病

当外来では積極的にインスリンポンプの導入を行っています。また日本初のパーソナルCGM(持続血糖測定器)機能搭載インスリンポンプ(SAP: Sensor Augmented Pump)もすでに導入しており、より患者様の生活スタイルにあった治療法を選択していきます。

ミニメド 630G インスリンポンプ

パーソナル(リアルタイム)CGM



該当する患者さんがいらっしゃいましたら、遠慮なくご紹介いただきますようよろしくお願いいたします。

＜外来日＞

毎週水曜(午前・午後)

夏祭りを開催しました

当院の小児科病棟で、毎年恒例の夏祭りを開催しました。『非日常の生活の中ではあるが、少しでも親子で楽しい時間を体験する』というコンセプトの元、多くの方々に参加いただきました。ありがとうございました。

